

令和5年度美波町文化講演会

—映画監督「古厩 智之」氏があの映画のエピソード等を—

昨年度美波町を中心にロケを行った映画「PLAY! ～勝つとか負けるとかは、どーでもよくて～」(奥平大兼・鈴鹿央士 W主演) がよいよ3月8日から全国公開となります。

この映画の公開を前に「古厩 智之」監督を講師としてお招きして映画撮影時のエピソードや美波町の印象をはじめとした内容での文化講演会となります。

日時 令和6年2月19日(月) 午後7時から
場所 日和佐公民館3階 大集会室



【講師】 映画監督 ふるまや 古厩 ともゆき 智之 氏



【プロフィール】 1968年、長野県生まれ。大学在学中に制作した『灼熱のドッジボール』が、1992年ぴあフィルムフェスティバル(PFF)でグランプリ受賞を果たし、『この窓は君のもの』(95)で長編デビュー。同作で日本映画監督協会新人賞を受賞。『まぶだち』(01)でロッテルダム映画祭グランプリ。『ロボコン』(03)で日本アカデミー賞優秀脚本賞。『さよならみどりちゃん』(05)でナント三大陸映画祭銀の気球賞。その他の監督作品に『奈緒子』(08)、『ホームレス中学生』(08)、『武士道シックスティーン』(10)、『サクラんポの恋』(18)、『のぼる小寺さん』(20)、『パティシエさんとお嬢さん』(22)などがある。

映画「PLAY! ～勝つとか負けるとかは、どーでもよくて～」

若手俳優のフロントランナー、奥平大兼&鈴鹿央士 W主演。実話にインスパイアされた【eスポーツ】初の劇映画!

不満はないけれど、なにかが足りない。そんなどこにでもいる10代男子がひよんなきっかけから【eスポーツ】全国高校生大会に挑むことに。同じ学校に通いながらオンライン上で集合・解散、学年も性格もバラバラの3人組がモニターを越え、勝ち負けをも超えたその先で、目にした景色とは――。

【eスポーツ】を題材にした日本初の劇映画である本作は、徳島の高等専門学校を舞台に実在した生徒をモデルに描く青春映画。本音を語らず微妙な距離を保ついまどき世代を、時に笑いを誘いながら等身大に映し出す。それぞれが悩みを抱えながらも、この一瞬一瞬を全力で“PLAY”する姿はさすがしく、観る者の心にも爽やかな風が吹き抜けることだろう。

今をときめく奥平大兼と鈴鹿央士というふたりの若手有望株を主人公に、数々の青春映画の傑作を世に送り出してきた古厩智之監督がメガホンをとった。また企画・プロデュースは、「サクラ大戦シリーズ」等を手がけ、ゲーム界のレジェンドと称される、広井王子。

町民一人ひとりが相手を思いやり、多様な価値観を認め合う社会をめざしましょう。

「心温かい人々が暮らす、にぎやかな過疎の町」美波町であり続けるために人権について考え守っていくことがまさに、「にぎやかさ」美波町まちづくりにつながります。このコーナーでは人権に対する思いを掲載していきます。

ウミガメ No.26 News Letter

リニューアル工事進行中(子ガメ水槽)

カレットでは令和5年6月1日から始まったリニューアル工事が着々と進行しています。工事期間中は、皆様をお迎えすることができませんでしたが、工事の様子は今しか見られない光景でもありますので、少し現在の館内をご案内させていただきます。これまでの工事で、古い展示物の取り払いが全て完了し、現在は新しい展示物を作成したり、その取り付け準備などを行っています。右の写真は、リニューアル以前は子ガメ達が泳いでいた水槽です。水槽はこのまま残りますが、化粧直しの為、足場を組んで大掛かりな作業を行っています。水槽周りの古い塗装は剥がして、壁の下地を塗りなおし、新しい背景に代える予定です。新しい背景は、壁に直接描くのではなく、予め背景をプリントした耐水性の壁紙シートを貼り付けますので、壁の傷み予防にも期待しています。その他にも、

永年の展示で傷んでしまった箇所の補修も水槽の水が抜けている今のうちに行います。この工事が終わるまでの間、水槽にいた子ガメ達は別の場所に、引っ越し中です。工事が完了するのはもう少し先になりますが、新しくなった館内でウミガメ達や新たな展示物をお見せできる日が、今から待ち遠しいです。リニューアル工事が完了した際は、是非足を運んでみてください。リニューアル工事以前の館内を思い出しながら、新しくなった箇所と面影が残る箇所を見るのも楽しいかもしれません。(館長：平手康市)



うみがめについての質問をお送りください。お答えします!
 〒779-2304 徳島県海部郡美波町日和佐浦369 うみがめ博物館カレット【質問係】



応募フォーム

Question

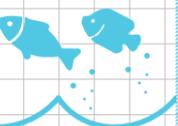
世界にウミガメは何種類いますか?

Answer

ウミガメには7種類または8種類いると考えられています。これは、アオウミガメとクロウミガメが同種なのか別種なのかの考えの違いによります。カレットでは別種と考えて展示しています。

みなみの海のいきもの図鑑

太平洋に面する美波町では多くの生き物たちが生息しています。このコーナーでは実際に撮影してきたリアルな写真と共にいろんな生き物たちをご紹介します!



ホンソメワケベラ

ホンソメワケベラは体長約10cmのベラの仲間で成魚と幼魚では模様が違います。他の魚の体についている寄生虫や口の中の食べ残しを食べるので掃除屋さんとして知られています。小型の魚から、クエのような大型の魚でもエラや口の中に入って掃除をすることがあります。掃除中、クエは口を大きく開けてじっとしています。大きな魚の口の中に入って食べられないのか心配になりますが、掃除をしてくれるというメリットがあるので食べられることはありません。カレットで一時期ホンソメワケベラを飼育していたことがあるのですが、同じ水槽内にいる魚たちがクリーニングを求めて順番待ちをしていることもありました。(ダイバー：長楽美保)



クリーニングをもらうオハグロベラの様子。掃除中はあまり体を動かさずいます。